

I 青果情報

1 3月下旬～4月中旬の経過

気象	<p>3月下旬は月末に本州付近を通過した低気圧により、太平洋側を中心にまとまった雨となり、旬降水量は西日本太平洋側で平年より多くなった。また、旬間日照時間は、日本海中心に高気圧に覆われやすく、北・東・西日本日本海側で平年より多くなった。</p> <p>4月に入ると、上旬は低気圧の影響で全国的にまとまった雨となり旬降水量は平年より多く、旬間日照時間は少なくなった。中旬は高気圧におおわれやすかった北・東日本と沖縄・奄美で旬降水量は平年より少なく、旬間日照時間は平年より長くなった。</p> <p>なお、期間中、日本全体に暖かい空気が流れ込みやすく、旬平均気温は全国的に平年よりかなり高くなった。</p>
----	---

野菜類

入荷量	<p>「キャベツ類」「たまねぎ」「だいこん」を中心に入荷。</p> <p>寒の戻りが少なく、前月に引き続き野菜の生育は順調に推移した。曇雨天が続き、露地品目では一時的に入荷が滞ることもあった。</p> <p>「キャベツ類」は4月上旬に神奈川県産の端境に加えて降雨による品傷みが散見されたが、中旬は大玉比率が増えたことから入荷量は持ち直した。</p> <p>「ねぎ」は太物中心となり潤沢な入荷が続いた。</p> <p>野菜全体では、3月下旬から4月中旬までの入荷量は107,860 t（前年比98.5%）と前年並であった。</p>
相場	<p>相場は前年並を基本に、降雨の前後で葉物中心に短期的な強弱が生じた。</p> <p>「キャベツ類」は数量少なく品質にも難があったため引き合い強く単価が上昇した。「ねぎ」は太物には一定の引き合いがあったが、それ以外の等階級は売行き鈍く、単価は前年を大きく下回った。</p> <p>野菜全体では、3月下旬から4月中旬までの価格は293 円/kg（前年比93.7%）と、高値となった前年をかなり下回った。</p>

果実類

入荷量	<p>「かんきつ類」「いちご類」「りんご類」を中心に入荷。</p> <p>「かんきつ類」は中晩柑で全体的に前年よりも入荷量が多かった一方、気温の上昇に伴い傷み等品質劣化が散見された。「マンゴー」は前年のような出遅れもなく、比較的順調な動きだしとなった。また、「メロン類」「すいか類」の出回りも漸増し、特に「すいか大玉」は天候不順で出回りが少なかった前年を大幅に上回る入荷量が続いた。</p> <p>果実全体では、3月下旬から4月中旬までの入荷量は22,220t（前年比94.8%）と前年をかなり上回った。</p>
相場	<p>販売金額は「いちご類」「かんきつ類」「みかん類」が中心となった。</p> <p>「かんきつ類」は入荷増に加え、品質劣化から荷動き鈍く、安値傾向となった。また、「すいか大玉」「マンゴー」は作柄が悪かった前年と比べて順調な入荷が続いたことから前年を下回る単価が続いた。</p> <p>果実全体では、3月下旬から4月中旬までの価格は649 円/kg（前年比88.5%）と前年をかなり下回った。</p>